



学院史編纂室便り

No. 32
2010年12月15日
関西学院学院史編纂室

★時計台、復元された手すりと取り外された格子

関西学院のシンボルとも言える時計台（西宮上ヶ原キャンパス）に、竣工当時取り付けられていた2階の手すりが68年ぶりに復元され、9月26日に復元記念式が行われました。その一方で、1階の窓にあった鉄格子（紛争時に取り付けられたと言われていました。正確な時期をご記憶の方はご教示ください）は、夏の耐震補強工事実施に伴い取り外されました。また、竣工時にあったヴォーリズ建築の一つの特徴である階段手すりの透かし模様の装飾（写真）は、今なお復元されていません。



★「関学タイムトンネル」（日本語・英語）の公開

かねてより吉岡記念館ウェブサイトの充実に協力して参りました学院史編纂室では、新コンテンツ「関学タイムトンネル」（仮題）公開に向け、作業を進めています。「〇〇年前の今日、関西学院で何があったのか？」との視点で過去を振り返り、先人の苦勞に思いを馳せることのできる内容を目指しています。準備が整いましたら、吉岡記念館、または学院史編纂室のトップページからお入りください。なお、吉岡記念館と当室の協力により公開されているコンテンツは次の通りです。

- ・「関西学院を創ったひとたち」（「写真でたどるウォルター・R・ランバスの生涯」「写真でたどる吉岡美国の生涯」もあり）
- ・「原田の森キャンパス」
- ・「学院探訪」（English version: "Esprit de Kwansei Gakuin"）
- ・「関学タイムトンネル」（English version: "Back to the Old Kwansei"）＜仮題＞－作成中－

★クロアチア共和国ドラゴ・シュタンブク大使の帰任

関西学院グリークラブが90年以上歌い続けてきた名曲「U Boj」がご縁となり、第40回関西学院グリーフェスティバル（2008年9月28日）で、高等部生、大学生、新月会メンバーと共に同曲を熱唱されたシュタンブク特命全権大使が5年の任期を終え、今月下旬帰国されます。

★故蛭沼寿雄先生『新約本文のパピルス』第Ⅲ巻刊行

11月1日、『新約本文のパピルス』第Ⅲ巻（B5版381頁、15,750円）が新教出版社より刊行されました。没後10年を前に、蛭沼先生の偉業がようやく完成したことになります。出版のための募金にご協力いただいた方は同書刊行委員会から既にお聞き及びのことと思いますが、学院史編纂室が関わりました当事業を温かく見守ってくださった皆様に改めてお礼を申し上げます。

★訃報:ディヴィッド・ウッズウォースさん

高等学部長、文学部長（専門部）、法文学部長を歴任したH. F. ウッズウォース(1883-1939)の次男ディヴィッドさんが、8月13日にカナダのモントリオールで亡くなりました。91歳でした（写真前列左より、ご本人、母エーダ、父ハロルド、姉シルヴィア）。



関西学院の両キャンパス（原田の森と上ヶ原）で子ども時代を過ごされたディヴィッドさんは、J. C. C. ニュートン第3代院長の思い出を語っていただける数少ない人物でした。マギル大学教授時代には、客員教授として本学社会学部で教えられたこともあります。また、お父様の写真の他、C. J. L. ベーツ第4代院長の油彩画や愛用のガウン、神原浩（旧中明45）のエッチングをご寄贈くださる等、当室の活動を常にサポートくださいました。「関西学院と日本に対する深い愛情は、終生変わることはありませんでした」とご遺族は語っておられます。